

つなぐ・つながる・つなげる

# 世界に羽ばたく、東京ブランド

日本経済の中心地である東京。多くの企業が集まり、人々が行き交い、国内外から注目されている。まちづくりが進み、毎年のように景色が変化する東京を元から支える都内中堅・中小企業は、世界的にも優れた製品や技術を数多く持っている。こうした世界に羽ばたく中堅・中小企業を後押しする東京都や各支援機関の取り組みのほか、日本が誇る東京発の技術を持つ企業を紹介する。



東京都知事 小池 百合子氏

東京都が企業に取り組みを呼びかけているスマートシティ。テレワークや時差通勤などによる働き方改革を進めることで、交通混雑の緩和を狙う。この取り組みは新型コロナウイルスの感染拡大の防止にも期待されており、多くの企業が取り組みを始めている。東京都の小池百合子知事に働き方改革について聞いた。

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スマートシティの実施を企業の皆さまにお願いしている。また、『塊より始めよ』ということで、都庁の本庁舎勤務の約1万人全員が一斉にテレワークかオフピーク通勤を実施し、働き方を大きく変えている」

「スマートシティは大きな効果が出ていっていると思う。特に時差Bizとテレワークは、地下鉄などレジャーを劇的に下げる効果があることを皆さんも体験されている。このクールビズでも産業界には大きな変革を及ぼしました。」

「私が環境相の時に始めたクールビズは、地球温暖化を防ぐという大きな意義があった。繊維産業では、その後、涼しい繊維の開発など新しい取り組みも出ています。今回のスマートシティは定着していくでしょう。ただ、大義だけあっても共感がなければ定着しない。今回の大義は感染症の拡大防止対策で、共感の部分は通勤電車が空いて楽、という点。どうすればみんなのためになるか、いろいろな工夫を重ねられれば、一層定着していくと思います。」

## スムーズビズ呼びかけ 感染症防止、働き方改革に



「ただ、大義だけあっても共感がなければ定着しない。今回の大義は感染症の拡大防止対策で、共感の部分は通勤電車が空いて楽、という点。どうすればみんなのためになるか、いろいろな工夫を重ねられれば、一層定着していくと思います。」

### 東京の産業と雇用就業

#### 95%以上が中小企業

多くの企業が進出し、集積する都心3区では少人数が集まる東京。そんな東京の産業の現状はどうか。東京都産業労働局の発行する「東京の産業と雇用就業2019」から、中小企業を中心に、人や情報などが集まる東京の今を見てみる。

東京ではあるが、一方で地価や物価など事業コストが高いといった課題も抱えている。製造業の都内総生産をみると、2016年度は約9兆円、都内総生産に占める割合は8.8%。業種別では輸送用機械が最も多い。



東京都は小規模事業所の割合が多い

製造業の事業所数は全国で3番目に多い(イメージ)が、この

製造業の事業所数は全国3位



丸の内開設予定のスタートアップ支援拠点「NEXS TOKYO」(東京都提供)

### 産業振興

2020年度、東京都は、持続的な発展を目指す。成長の期待できるスタートアップへの多面的な支援を展開していくほか、第5世代通信(5G)の産業分野への利活用を促進させる。

「私が見たいのは、持続的な発展を目指す。成長の期待できるスタートアップへの多面的な支援を展開していくほか、第5世代通信(5G)の産業分野への利活用を促進させる。」

5G活用、スタートアップ支援

薄い! 速い! 自動!

# Trinity Cube

トリニティーキューブ [ポスト投函型薄箱自動梱包機]

